

第4回適応自治体フォーラムの開催概要

- 日時：2019年8月28日（水）10時～17時20分
- 場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 2～3階
- 参加者：国（文科省、環境省、農水省、国交省、気象庁）、全国の自治体行政（環境部局、農政部局、防災・河川部局）と地方環境研究所、地方農業試験場など および SI-CATメンバー約140名
- 目的：気候科学技術・データの自治体行政への実装化プロセスの検証と課題を明らかにする
- アジェンダ
 - 午前は全体会・講演形式
 - SI-CAT技術開発機関のシーズの紹介
 - 社会実装に向けたSI-CATモデル自治体の取り組み
 - 全国の自治体の計画策定の動向や行政・住民の協働の動き
 - 午後はテーマ別（適応計画・暑熱・防災・農業）の小グループに分かれてワークショップ形式

詳細アジェンダ

- 開会のご挨拶（三上PD、文科省）、趣旨説明（法政大学・田中）[10]
- SI-CATでの気候変動影響評価の技術開発の概略
 - ✓ 近未来予測とダウンスケーリングとは？（JAMSTEC・石川）[20]
 - ✓ 気候変動の影響評価技術の開発（NIES・肱岡）[20]
 - ✓ 統計的ダウンスケーリングの開発（筑波大学・大楽）[15]
 - ✓ 全国のコメ生産の気候変動影響評価（農研機構・石郷岡）[15]
- SI-CATモデル自治体の取り組みの紹介
 - ✓ 埼玉県の暑熱対策への取組（埼玉県・嶋田）[15]
- 全国の自治体の計画策定の動向、行政・住民の協働の動き
 - ✓ 地域・市民主導による気候変動の影響評価と適応策（法政大/山陽学園大・白井）[15]
 - ✓ 地方自治体の適応計画の動向（全国調査結果）（法政大・東京都市大・馬場）[15]
- 総合討論[15]
- 分科会（適応計画全般1/2/3/農業/防災/暑熱）に分かれてワークショップ [160]
 - ✓ モデル自治体等による社会実装の経験・事例紹介、現在の影響・ニーズとシーズの相互理解、適応策・計画の検討等について意見交換を行う
 - ✓ グループ：各分科会とも自治体行政3～6名、地方研究所やコンサルタントなど数名、技術開発機関3～6名、残りの方は適宜参加、または周囲から傍聴など
 - ✓ ファシリテーター：小澤・土井・小杉（適応計画）/木村（暑熱）/稲葉（防災）/増原（農業）
 - ✓ ワークショップ結果の共有と総合討論[50]
- 閉会（法政大学・田中）[5]

ワークショップのまとめ (各分科会からの報告と意見交換・総合討論)

- 各分科会からの報告
- 総合討論の論点
 - 科学的知見の活用による社会実装上の工夫・課題や促進・阻害要因とは？
 - 適応策とその目標設定の在り方は？
 - 国と自治体との役割分担の姿は？

事後アンケートでのご意見

